



社会福祉法人あすか福祉会

あそ通信

令和元年 7月号

〒817-0322
対馬市美津島町鶏知甲 738-10
特別養護老人ホーム浅茅の丘
広報委員会
☎ 0920-54-3788



ついに7月に入りました。歳を取ると一年が経つのが年々早く感じますが、一年に一度しか会えないとなると長く感じる事でしょう。織姫と彦星です。そこで、七夕の歴史・由来を調べてみました。七夕は「たなばた」または「しちせき」とも読み、古くから行われている日本のお祭り行事で、一年間の重要な節句をあらわす五節句のひとつにも数えられています。

毎年7月7日の夜に、願いごとを書いた色とりどりの短冊や飾りを世の葉につるし、星にお祈りをする習慣が今も残ります。七夕はいつだったから、どのようにして始まったのでしょうか？その起源には数多く説がありますが、①もともと日本の神事であった「棚機（たなばた）」と②おりひめとひこぼしの伝説と③奈良時代に中国から伝来した「乞巧奠（きこうでん）」という行事が合わさったものと言われています。

「棚機（たなばた）」とは古い日本の祝ぎ（みそぎ）行事で、乙女が着物を織って棚にそなえ、神さまを迎えて秋の豊作を祈ったり人々のけがれをほうらうというものでした。選ばれた乙女は「棚機女（たなばたつめ）」と呼ばれ、川などの清い水辺にある機屋（はたや）にこもって神さまのために心をこめて着物を織ります。そのときに使われたのが「棚機（たなばた）」という織り機です。やがて仏教が伝わり、この行事はお盆を迎える準備として7月7日の夜に行われるようになりました。現在七夕という二文字で「たなばた」と当て字で読んでいるのも、ここから来ていると言われています。

おりひめとひこぼしの伝説

琴座のペガと呼ばれる織女（しよくしよ）星は裁縫の仕事、鷲（わし）座のアルタイルと呼ばれる牽牛（けんぎゅう）星は農業の仕事をつかさどる星と考えられています。この二つの星は旧暦7月7日に天の川をはさんで最も光り輝いているように見えることから、中国で

日と考え、七夕ストーリーが生まれました。

乞巧奠（きこうでん）とは？

「乞巧奠（きこうでん）」は、中国の行事で7月7日に織女星にあやかってはた織りや裁縫が上達するようにとお祈りをする風習から生まれました。庭先の祭壇に針などをそなえて、星に祈りを捧げます。やがてはた織りだけでなく芸事や書道などの上達も願うようになりしました。

日本に伝わった七夕の行事

平安時代にその話が日本に伝わると、宮中行事として七夕行事が行われるようになりました。宮中の人々は桃や梨、なす、うり、大豆、干し鯛、アワビなどを供えて星をながめ、香をたいて、楽を奏で、詩歌を楽しみました。サトイモの葉にたまった夜つゆを「天の川のしずく」と考えて、それで墨を溶かし梶の葉に和歌を書いて願いごとをしていました。梶は古くから神聖な木とされ、祭具として多くの場面で使われてきました。

江戸時代、やがて庶民の行事へ江戸時代になり七夕行事が五節句の一つとなると、七夕は庶民の間にも広まり、全国的に行われるようになりしました。人々は野菜や果物をそなえて、詩歌や習いごとの上達を願いました。梶の葉のかわりに五つの色の短冊に色々な願い事を書いて笹竹につるし、星に祈るお祭りや変わっていききました。中国には古代より、木・火・土・金・水の五つの要素によって自然現象や社会現象が変化するという学説があり、五色のたんざくはこれにちなんで緑・赤・黄・白・黒です。中国ではたんざくではなく、織姫の織り糸にちなみ、吹き流しや五色の糸をつるします。また、たらいに水を張って梶の葉を浮かべ、そこに織女星とひこぼしの二つの星をつつしておりひめとひこぼしが無事に会えるようにと祈りました。

今年対馬は、雨不足？今年の七夕は星空の下でお祈りできそうです。浅茅の丘のホールと玄関にも笹の葉に短冊や飾りをつけて、皆さまの願い事が叶いますようお祈りしております。



ちぎ隊



勝見さん大活躍！

こんなにたくさん採れました！

つくだ隊



応援隊

甘酸っぱくておいしい甘露煮が鍋いっぱいになりました。おやつ時間に食べて頂くと「美味しいねえ」「よう煮たねえ、うまいよ」など嬉しいコメントを頂きました♪



お誕生会はカラオケを楽しみました

6月の梅ちぎり（梅の実収穫レクリエーション）、そして、梅の実ジュース・甘露煮作りは、6月9日に行いました。裏庭の梅の木下にブルーシートを広げ、梅の実を落として集めていきます。皆さまの応援と、叱咤激励を受けながら、写真にはまったく写っていない施設長も、木に登り、木を揺らし活躍（笑）収穫した梅は、皆さま手慣れた様子で、てきぱきと下準備！美味しい梅ジュースと甘露煮ができました。皆さまと一緒にいただきました。美味しかったですよ（嬉）

6月の誕生者は、今年白寿をお迎えになりました原アキエ様でした（祝）お誕生日には対馬市からの表彰と記念品の贈呈がございましたが、6月19日には、また浅茅の丘の皆さまとお誕生会にてお祝いを致しました。誕生会のレクリエーションはカラオケで楽しみました。なぜなら、7月の納涼祭に向けて皆さまも声ならし？を・・・皆さま上手です！

おめでとうございます！



あじさいドライブ



7月の誕生者



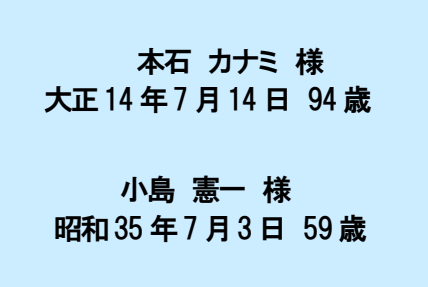
平間 常子 様
昭和15年7月5日 79歳



吉田 寛 様
昭和11年7月20日 83歳



多田 ハナエ 様
大正15年7月28日 93歳



本石 カナミ 様
大正14年7月14日 94歳

小島 憲一 様
昭和35年7月3日 59歳

※本石様、小島様は入院中の為、写真は割愛させていただきます

ボールころがし



7月は5名の利用者様が、お誕生日をお迎えになられます。「7月生まれの方の行動パターン」とネットで検索...明るく無邪気に周りを元気にしてくれます。気取らないキャラクターが好評！話題のネタもたくさん持ち合わせているため、周りを楽しませてくれます。また、大胆不敵なところもあるため、あつと驚かせるような行動をすることも！と、ありました。皆さまはいかがでした？当たっていましたでしょうか？

6月23日には、ドライブで紫陽花見学に行ってきました。紫陽花がきれいな県道179号線に沿ってドライブでした(快)グリーンピアの公園で皆さんと記念写真をハシャッ！気持ち良い天気でした。紫陽花の写真を撮り損ねていました！残念。

レクでのボールころがしの様子のご紹介です。みんな協力することで盛り上がりです。また、遠くに投げるわけではないので、軽くボールで遊ぶような感覚で大丈夫。あまり運動っぽくは見えないかもしれませんが、しっかりとボールを投げる動作なので指先や腕の運動になっていきます。また歌ったりボールを操作したりと様々な複合的な動きがありますので、脳の活性化に良い運ゲームだと思います(楽しい)

七夕飾りの写真をご紹介します！浅茅の丘のホールと玄関に笹がきれいに飾り付けられました。面会のご家族様からも短冊にお願い事と頂きました。(感謝)

★ 7月の行事予定 ★

- 3日 褥瘡委員会・給食委員会
 - 6日 散髪ボランティア
 - 7日 セタそうめん流し
 - 10日 感染防止委員会
 - 14日 お誕生会
 - 17日 事故防止・拘束廃止委員会
 - 29日 運営委員会
 - 24日 全体会議
 - 28日 納涼祭
- 毎週金曜日は回診

歌や踊りに出店もたくさん！思い出に残る時間を一緒に過ごしましょう！

食中毒の季節です

6月12日は、感染防止委員会開催での食中毒予防・感染防止の研修会を行いました。看護師さん、栄養士さんからの講義のあとは、吐しゃ物等を発見した時、嘔吐された時の処理手順を、浅茅の丘感染予防マニュアルを確認し実習です。良い勉強会になりました。

